

備 前 市 事 務 事 業 評 価 シ ー ト

(平成23年度事業)

事業の概要					
事業開始年度	平成17年度		根拠法令・例規等		
総合計画	大項目	03	地域文化と人が輝くまちづくり	問	担当課(室)
	中項目	02	生きがいのあるまちづくり		教育委員会スポーツ振興室
	小項目	06	スポーツ・レクリエーション		職・氏名
事務事業名		01	海洋スポーツ普及事業	合	電話
				先	63-3813
				このシート作成に要した時間	
				2.0 時間	

事業の目的		
対象(誰・何に対して)	小学生以上の海洋スポーツに興味のある人・海洋スポーツを積極的に取り組むため入会した海洋クラブ員	
目的(何のために)	海洋スポーツの普及に取り組むことによりスポーツ振興を図る。海洋スポーツをとおして青少年の健全育成を図る。	
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	海洋スポーツ教室、海洋スポーツ大会(県大会・中国大会)出場に向けて訓練、また、海洋スポーツ普及大会の開催により、海洋スポーツの普及と推進を図る。	

事業の実績			
目的を達成するため実施した事業	細事業名	事業の説明	優先度
	B & G海洋センター総務事業	海洋センター連絡協議会関係事務・海洋クラブ奨励金(奨励金の交付・クラブ員育成等)	
	海洋スポーツ普及事業	艇庫開き・海洋スポーツ普及大会	

事業費等		単位	平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度実績
事業費	直接事業費	千円	118	115	122
	必要人員費	人	0.09人	0.05人	0.12人
	事業費計	千円	959	535	1,219
決算額	国	千円			
	県	千円			
	支	千円			
	出	千円			
財源	受益者負担	千円			
	繰入金	千円			
一般財源	市	千円			
	その他()	千円			
一般財源		千円	959	535	1,219
受益者負担比率	%		-	-	-
結果指標名		単位	平成21年度実績	平成22年度実績	平成23年度実績
結果指標	艇庫開き・海洋スポーツ普及大会開催	件	22	59	98
	対前年比	%	-	268.2%	166.1%
	活動コスト	円	736,000	535,000	643,000
	単位当たりコスト	円	33,455	9,068	6,561
	説明		海洋スポーツ開始のための艇庫開き・海洋スポーツ普及大会の開催		

事業の成果		年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度目標値
成果指標名	艇庫開きを開催し海洋クラブ員を募り、海洋スポーツ普及大会を開催することで海洋スポーツの振興を図る。	目標値(A)	150	150	150	150
		実績値(B)	22	59	98	到達目標値
		達成率(B/A)	14.67%	39.33%	65.33%	160
成果指標設定の考え方・式や説明						
艇庫開きと海洋スポーツ普及大会への参加人数(平成21年度は水不足のため海洋スポーツ普及大会が中止で艇庫開きのみの人数)目標値は両事業ができた場合の人数						

事務事業の評価		該当する項目を から へ < 「コピー」して「貼り付け」してください >	Check
妥当性の評価	市の関与の妥当性	市が実施するよう法令で義務づけられている 法令で義務づけられていないが、実施しなければ大半の市民の日常生活に支障をきたす 現在市が実施しているが、実施しなくても市民の日常生活に支障をきたさない 事業の内容が一部の受益者に偏っている 対象者は限定的であるが社会的弱者等を対象としている 現在の市を取り巻く環境からも目的・意図する成果は妥当である 事業開始当初の目的から変化してきている 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている 厳しい財政状況であるが、実施する必要がある	妥当性評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い しい B
	市民ニーズ	市民・団体等から要望・要請が強い	
効率性の評価	コスト	単位当たりコストは前年度と比較して改善している 実施方法(派遣・委託含)を見直すことでコストを下げる余地がある 事務の電子化や事務改善によりコストを下げる余地がある コスト削減の努力はしているが、下がる余地は小さい 受益者負担率は適正である 受益者負担率を見直す余地がある サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある 最適な手段を求めて職場内で改善・研修に努めている	効率性評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い しい B
	目的達成度	成果指標の設定は適切である 成果指標の到達目標値は達成できそうである 成果指標達成率は前年度と比較して向上している 成果指標達成率は80%未満となっている 現在の事業を継続しても成果指標の向上は期待できない 法定事務・内部管理事務 であり成果は求めにくい 事業について積極的にHPや広報等で情報提供している 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している	有効性評価 A B C D E 高や普や低 いや通やい 高 低 い しい B

進行年度(H24年度)の改革改善内容	
状況	拡充 現状継続 見直し 縮小 整理統合 休止 廃止・完了
説明	B & G 海洋センターの管理・運営を指定管理者制度導入で実施しているが、海洋スポーツの普及に関すること、海洋クラブ員の育成は市と協働で行い、指導者会の協力をいただき、市民が海洋スポーツを身近なスポーツと感じるよう、イベントの開催等努めていく必要がある。

総合評価		
海洋スポーツは青少年の健全育成に有効なものであると認識している。イベントやクラブ員の育成については、指導者会の協力を得ながら、指定管理者と市が協働で行い、今後更に海洋スポーツの普及と推進をしていく必要がある。	総合評価	B

平成25年度の方向性・取組目標	
方向性	拡充 現状継続 見直し 縮小 整理統合 休止 廃止・完了
取組目標	海洋スポーツ普及大会の参加や、クラブへの入会については、広報誌・HP等活用し募集を図る。海洋スポーツ教室、普及大会の指導等については、指導者会の協力を得ながら、指定管理者と市が協働で、今後さらに海洋スポーツの普及に努める。

事業の意図する成果とつながる成果指標を設定

事業の目的、対象、内容を考えながら妥当性を評価

事業費や受益者負担比率、単位当たりコストに留意しながら効率性を評価

事業の目的やその数値目標を評価する